

実験名称	ハウス食品(株)およびヤマト運輸(株)宅急便 関東～九州間の鉄道活用実証実験								
実験概要	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離トラック輸送の、鉄道へのモーダルシフト ・31ftコンテナを使用 								
申請者	荷主等	ハウス食品(株) ヤマト運輸(株)			物流	ハウス物流サービス(株) ヤマト運輸(株) 日本貨物鉄道(株) 日本石油輸送(株)			
実験期間	H15年10月～H16年9月(1年間)								
輸送経路	現行	福岡県古賀(トラック) 埼玉県蓮田(ハウス食品(株)) 埼玉県戸田(トラック) 福岡(ヤマト運輸(株))							
	転換後	福岡県古賀(トラック) 福岡夕駅(鉄道) 越谷夕駅(トラック) 埼玉県蓮田 埼玉県戸田(トラック) 越谷夕駅(鉄道) 福岡夕駅(トラック) 福岡							
貨物	品目	関東行き:加工食品 九州行き:宅急便貨物			貨物量	往復:6,000トン (片道:3,000トン)			
C02排出量	現行	1,324.32 t-C02/年	転換後	202.58 t-C02/年	削減量	1,121.74 t-C02/年	削減率	84.7%	
補助金申請額	1,683,333円(1,683,333円、 0円)								
施策効果	666.38 t-C02/百万円・年								
備考	往復								

(C)Aries 1993

